

環境活動をグローバルに強化する行動計画

FDKグループ第6期環境行動計画

2010年度から2012年度末までの3カ年計画である第6期環境行動計画では、気候変動問題や生物多様性などの環境課題を踏まえた計画としています。

これまでの環境行動計画は国内を対象としていましたが、新たにグローバルな目標設定を行い、2012年度末までに、エネルギー消費CO₂を1990年度比で6%削減、廃棄物の発生量を2007年度実績比で20%削減、そして社会貢献活動と生物多様性の保全に取り組みます。

FDKグループ第6期環境行動計画

項目	目標 (2010~2012年度)
環境配慮設計の開発拡充	<ul style="list-style-type: none"> スーパーグリーン製品を3機種以上開発する 新規開発品の環境効率ファクター1.2以上を達成する
地球温暖化防止	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー消費CO₂排出量を1990年度実績比で6%削減する
リデュース、リユース、リサイクル (3R) 活動による環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質排出量を2007年度実績比で10%削減する 廃棄物発生量を2007年度実績比で20%削減する 製品の資源再利用率90%を維持継続する
グリーン調達	<ul style="list-style-type: none"> 取引先のEMS構築率を向上する
環境マネジメントの運営強化	<ul style="list-style-type: none"> 本社部門のEMS統合を推進する FDK鳥取、FDKトワイセルと連携しEMS統合へ向けて活動する
地域社会とのコミュニケーションの深耕と生物多様性への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会と連携し環境貢献/社会貢献活動実施と生物多様性の取り組みを行う

トピックス

CO₂削減への取り組み

FDKトワイセル(株)ではCO₂削減の取り組みとして、2010年10月末完成の予定で太陽光発電設備(システム容量120KWh)を導入いたします。

CO₂削減
クスノキ換算
約112本



太陽光発電パネル

FDKトワイセル(株)太陽光発電パネル設置予定図

地球にやさしい「製品の開発」

環境に配慮した製品の開発

FDKグループでは、新製品開発時にはデザインレビューを行い製品のつくりこみの要素として環境面に関する評価(製品環境アセスメント)を行っています。さらに2004年度からは、「スーパーグリーン製品」の開発、2007年度からは環境効率ファクターの向上にも取り組んでいます。

大容量リチウムイオンキャパシタ

充放電のサイクル寿命が長く、大電流の急速充放電が可能な蓄電デバイスです。不要な電力を蓄えておいて、必要なときに放電することで、電力の有効利用や安定供給が可能となります。高温環境下での使用も可能としています。

電力の有効利用



製品型式
EneCapTen[®]
ECM45シリーズ

太陽光発電システムに採用

富士電機システムズ株式会社との共同開発によるリチウムイオンキャパシタモジュールが、沖縄県の与那国島などの離島で2010年8月より実証実験が実施される太陽光発電の系統安定化システムに採用されました。リチウムイオンキャパシタモジュールを太陽光発電システムに搭載することで、天候などによる出力の変動を安定させることができます。

直管LEDランプ・電源

蛍光灯(40W・20W)の置き換えタイプの人に環境にやさしい照明です。蛍光灯に比較すると、約60%の省エネ及びCO₂排出量の削減効果が得られます。独自の特殊光拡散技術により、ドットパターンとグレア(まぶしさ)を解決しました。

CO₂
60%削減



製品型式
FLED40S-40-PSW-LHH